コンプガチャ

月20万円投じる人も

識者「課金高すぎ」と指摘

ソーシャルゲーム各社が廃止を決めた「コンプリートガチャ（コンプガチャ）」と呼ばれるアイテム商法は、月に数十万円請求されたユーザーもいるなど高額課金が社会問題化していた。ディー・エヌ・エー（DeNA）やグリーなど大手にとっては大きな収益源を失うことを意味し、業績面で打撃が避けられない。＝①面参照

ソーシャルゲームは通信費を除いて原則無料をうたっているが、対戦を有利に進めるには「ガチャ」と呼ばれる一回数百円程度が主流の有料電子くじを引き、武器や防具などゲーム内で用いるアイテムを獲得する必要がある。くじで特定の複数アイテムを全てそろえる（コンプリートする）と、さらに希少なアイテムを入手でき、対戦で勝利を収めやすくなる仕組みだ。「効果てきめんで、他のユーザーから称賛されるなど英雄気分になれる」（愛好者）という。

しかし、該当するアイテムを全てそろえるには何度もくじに挑戦する必要があり、結局、高額請求を受ける場合が多い。グリーのゲーム「探検ドリランド」に熱中していると

コンプリートガチャの仕組み

ゲーム内で一般的に1回数百円の「ガチャ」でアイテムを入手

ある組み合わせがそろうと…

ゲームを有利に進められる希少なアイテムを入手

イメージ悪化回避

ゲーム業界に詳しい「エンターブレイン」の浜村弘一社長の話

コンプリートガチャで子どもが高額な料金を請求される例は世間が騒ぐほど多くはなく、お金をたくさん使っているのは三十代後半の男性が多いのが実態だ。コンプガチャはゲームの中の小さな仕様の一つにすぎず、収益に大きな影響はない。「コンプガチャ＝ソーシャルゲーム」ではないのに、そういう誤解が広がって「ソーシャルゲーム＝悪」というイメージが定着するのを避けたのではないか。

いう男子大学生は「つい月二万～三万円使ってしまうが、ソーシャルゲームに強い知人は月に二十万円程度を投じている」と語る。

アイテム入手にかかる費用は、関係者の間で早くから問題視されていた。ゲーム業界に詳しいアナリストは「開発費と比べ（課金が）高額過ぎるのはDeNAやグリーの粗利益率を見れば自明。両社はもっと早く上場している大企業としての自覚を持ち、改善策を急ぐべきだった」と話した。

九日の東京株式市場で、DeNAの株価終値は前日比二十六円安の千九百三十五円、グリーは百五十九円安の千四百九十一円と売りを浴びた。二社にとって信頼回復の道は険しそうだ。

エイチームも廃止

ゲームの企画・開発などを手掛け、グリーと業務提携しているエイチーム（名古屋市）も九日、コンプガチャの仕組みを五月末で廃止すると発表した。ただ、現時点でコンプガチャを採用しているゲームはほとんどなく、業績へのマイナス影響はないとみている。

いつでもどこでも情報GET！
中日ケータイサイト
ニュース
スポーツ
芸能
ドラゴンズ情報
F1
釣り情報
山情報
※バーコード対応の携帯電話で読み取ってください。

菰野で新鉱物発見

四日市の山本さん「苦土ローランド石」

山本貞興さん

三重県四日市市尾平町の元小学校教諭山本貞興さん(七〇)が、同県菰野町で採取した結晶の粒が粗い花こう岩・ペグマタイトからレアアース（希土類）を含む新鉱物を発見し、二日に国際鉱物学連合で承認された。

苦土ローランド石が見つかった花こう岩。赤い矢印付近数カ所に分布している＝9日、三重県四日市市で

新鉱物は「苦土ローランド石」と命名。既に発見されているローランド石よりマグネシウムを多く含み、苦土はマグネシウムを意味する。国立科学博物館によると、新鉱物の発見は国内で年間、一～二例あるという。

山本さんによると、二〇一〇年七月と一一年九月、菰野町の宗利谷の河原などで、直径五十センチほどのペグマタイトを割ったところ、十数カ所の断面から見つかった。大きいのは長さ二センチほどで、大半は長さが数ミリの粒だった。国立科学博物館地学研究部の鑑定では、苦土ローランド石はガラスのような光沢のある灰色の結晶の集合体。イットリウムなど、新エネルギーとして期待される希土類が重量（酸化物換算）の六割を占める。

現地調査した地学研究部の宮脇律郎鉱物科学研究グループ長(五二)は「多量の採集が見込めず、希土類の抽出も難しい。資源としては期待できないが、地球の成り立ちを解く上で学術的な意義は大きい」と語る。

定年後から趣味で鉱物採集をしている山本さんは「新鉱物の発見は念願で、夢がかなった」と話す。十五日に北海道で開かれる日本希土類学会で、新鉱物発見を科学博物館と共同発表する。

地球の反対側へ

100万丁の「ありがとう」

取引先の南米パラグアイの日系農家から寄付された大豆で豆腐を作り、東日本大震災の被災者に配布している食糧輸入会社「ギアリンクス」＝岐阜県美濃加茂市、中田智洋社長(六一)＝が、豆腐百万丁の配布を達成した。現在も毎週約一万丁を配布しており、被災者から感謝の思いが書かれた手紙や、写真などが数百通届いている。

昨年三月十四日、パラグアイを訪問していた中田社長は、岩手県出身の大豆農家福井一朗さん(四七)から「祖国日本を応援したい」と、日本人・日系農家が生産した大豆百トンを受け取った。さらにパラグアイの皆さんの支援を決して忘れません」と日本人連合会、国民から二十七万五千八百七十三ドル（約二千二百万円）の寄付金が同社に寄せられた。

中田社長は、被災者に温かい湯豆腐やみそ汁を食べてもらおうと、大豆と寄付金で豆腐を製造。「心はひとつ」と書かれたパッケージを付け、岩手、宮城、福島の三県で計百万丁を配布した。

岐阜県中津川市で四月に開かれた日系農家らへの感謝状贈呈式では、「地球の反対側から支援ありがとう」「どこの豆腐よりもおいしかった」「パラグアイの皆さんの支援を決して忘れません」と日系農家、日本人連合会の代理として感謝状を受け取った福井さんの妹ユミさん(四二)＝静岡市＝は「豆腐は昔から日本人が食べている栄養価が高い食べ物。兄は被災者に手が届く身近な支援をすることができたと喜んでいた」と喜んでいる。

寄付された大豆はまだ三千トン残っており、同社は三十万～四十万丁を製造し、使い切るまで被災地への配布を続ける。パラグアイからの寄付金は使い切ったため、一丁百二十円で販売し、収益金を製造費、配布費用に充てる。問い合わせはギアリンクス＝電〇五七三(66)五一一一＝へ。

（中津川通信局・本田英寛）

「パラグアイのみなさんありがとう」とのメッセージを寄せる被災者＝宮城県山元町で

日々の暮らしの中で見聞きした、ちょっといい話や心温まるニュースをお寄せください。連絡先を明記の上で〒460 8511 中日新聞社会部「虹」係へ。ファクスは052(201)4331。メールアドレスはniji@chunichi.co.jp

海外だより

トキのひな 朱鷺色に

環境省は九日、新潟県佐渡市で四月中旬に生まれたとみられる放鳥トキのひな三羽の映像を公開した。くちばしがさらに長くなり、広げた羽の内側は鮮やかな「朱鷺色」になっていた。順調にいけば五月下旬に巣立ちを迎える。

環境省によると、体長は不明だが、体重は一キロ程度まで成長したとみられる。三羽が並んで巣に身を寄せ合って座っている様子が写っていた。三羽のうち一羽は、ひとまわり小さめだが、いずれも順調に成長している。

羽を広げる放鳥トキのひな＝9日早朝、新潟県佐渡市で（環境省提供）

長田啓首席自然保護官は「姿形がトキらしくなってきた。静かに見守っていきたい」と話している。

ひなの愛称を募集

新潟県佐渡市は九日、誕生したトキのひなの愛称を募集すると発表した。期間は十一～二十一日（必着）。

応募できる愛称は一人につき一つ。応募は郵送などで佐渡市のトキ交流会館＝電〇二五九(24)六〇四〇＝へ。

薬ネット販売訴訟

敗訴の厚労省上告

規制緩和策検討へ

一般用医薬品（大衆薬）のインターネット販売を原則禁じた厚生労働省令を違法とし、ネット販売を認めた東京高裁判決を不服として、厚労省は九日、最高裁に上告した。

政府は安全性の確保を条件とする規制緩和方針を昨年七月に閣議決定しており、厚労省は訴訟と並行して緩和策の検討を進める方針。

四月二十六日の判決は「ネット販売の一律禁止は、改正薬事法に明記されておらず、省令は法の委任によらずに国民の権利を制限しており、違法で無効」と指摘。ネット販売業者二社が敗訴した一審判決を取り消し、国側が逆転敗訴した。

改正薬事法は、大衆薬を副作用のリスクに応じ三つに分類。省令ではビタミン剤などリスクの低い第三類を除き、毛髪剤など第一類と風邪薬や解熱鎮痛薬など第二類のネットなどでの通信販売を原則禁じている。

★ツバメ調査に協力を

★ペル

★口コ